

創業70周年企業紹介



代表取締役社長 谷 政憲氏

株式会社 津松菱

創業 ● 1955年(昭和30年)10月1日
所在地 ● 津市東丸之内4-10
代表者 ● 代表取締役社長 谷 政憲
事業内容 ● 百貨店

これまでの歩み

昭和30年(1955)10月

津市大門に大門百貨店を
継承し創業開店
(売場面積 2,384 m²)



昭和38年(1963)11月

津市丸之内に
新店舗新築開店
(売場面積 6,171 m²)



昭和53年(1978)10月

店舗増床完成
(売場面積 8,365 m²)



平成5年(1993)10月

店舗増床完成
(売場面積 15,450 m²)



平成16年(2004)10月

1階グランドフロア リニューアル

平成17年(2005)9月

5・6階 リニューアル

平成18年(2006)3月

2・3・4階 リニューアル

平成23年(2011)3月

地階サポーレ リニューアル

津松菱百貨店は本年創業70年を迎えます。

昭和30年(1955年)に誕生した津松菱は、それ以前に存在していた「大門百貨店」の事業を引き継ぎ、以来、地域唯一の百貨店として、地元の皆さまと共に歩んでまいりました。

その原点ともいえる「大門百貨店」は、昭和11年(1936年)に創業されました。おぼろタオルの創業者である森田庄三郎様を中心に、津市の有志たちが「三重県初の百貨店をこの津の街に」との熱い想いを込めて創設したものです。当時としては画期的な試みであり、大門百貨店は単なる営利を目的とした商業施設ではなく、地域の生活を豊かにする「公益性」を強く意識した存在でした。

時代は流れ、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。中心市街地は空洞化し、郊外には安売りチェーン店が立ち並ぶ時代となりました。こうした中で、私たちは「良いもの」を「しっかりととした接客販売」でお届けし、お客様との信頼とつながりを大切にしてまいりました。単に商品を売るのではなく、人ととの交流を通じて、お客様の暮らしそのものに価値をお届けする——それが、私たち百貨店の本来の姿であり、他にはない存在価値だと考えています。かつて中心市街地には賑わいがありました。魚屋さん、八百屋さん、洋品店さんなど、百貨店だけでなく、それぞれのお店とお客様が、単に商品を通じてだけでなく、人と人としての繋がりがあったのです。

私たち津松菱は、「ありがとうございます」と言っていただける百貨店を目指し、いま一度、創業の原点に立ち返る時を迎えております。「公益」という志——これは、昭和11年に大門百貨店が生まれた時に込められた、地域への想いそのものです。時代は移り変わっても、私たちが果たすべき役割は変わりません。

これからもどうぞよろしくお願いします。



津松菱店舗